

益子院長が救急講演会で講演しました。



当院の益子院長が9月7日、八王子消防署及び八王子市防火防災協会主催による救急講演会に招かれ講演を行いました。

この講演会は9月9日からの救急医療週間に先立ち行われたもので、会場となった八王子市クリエイト大ホールは、八王市内の町会自治会々員をはじめ病院関係者また防火防災の関係団体の方など、多勢の方で会場が埋め尽くされました。

この日の講演内容は、「高齢者にやさしい八王子市の救急システムー八高連、まごころネット八王子、病院救急車の取り組みー」と

題し、市内における高齢者を取り巻く医療・介護環境を中心に講演しました。

救急出動件数の増加に伴って搬送時間が延長しているといった高齢者救急医療の課題と共に、国が進める地域包括ケアシステム構築による「ときどき入院、ほぼ在宅」とはどのようなものか、またこれを達成するための課題は何か、についてもお話ししました。

課題の解決に向けて、介護、医療、福祉、行政、各分野の参画機関が一堂に会して平成23年に立ち上げた八王子市高齢者救急医療体制広域連絡会(八高連)の設立経緯、各参画機関が取り組んだ事項やその効果、救急医療情報シートに必要な事項を予め記載し冷蔵庫等に貼付しておくことの重要性、更にはICTを活用した多職種連携医療介護支援ネットワークである「まごころネット八王子」についても詳しくお話ししました。

これらの取り組みの結果、八王子市では慢性期病院等の救急受け入れ件数が増加し、市内救急事案の市内収容率が改善しました。病院救急車は、高齢救急患者を住み慣れた地域で支えると共に、消防救急の負担軽減を図る効果を生み出していることについて、参加者の皆さんからも熱心に耳を傾けてもらいました。また最後には会場から次々と質問が出され、講演の内容に皆さんの関心が高かったことを覗き知ることも出来ました。

高齢者の医療現場の現状や取り巻く課題、その課題を少しでも解消しようと八王子市医師会が取り組んでいる事業等について、地域の皆様に情報発信が出来た意義深い講演会となりました。

